

## 「医師からの提言」

～望ましい協働を求めて～

### 開催主旨：

「重症心身障害児」という言葉は、先の4月1日(2012年4月)施行の「児童福祉法の一部改正」(正式名称「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」)による障害児施設の見直しに伴い、法律上の用語としての役目を終えました。時代が動きました。

法律上の用語としての役目を終えたとしても、この言葉の示す「重症心身障害」が解決したわけではありません。そもそも、法律が当初に定義した重症心身障害児者の概念と、私たちが日々、目の前で理学療法等を通じて出会う重症心身障害児者の実態は、すでに大きな隔たりが生じているのではないのでしょうか。この時代だからこそ、重症心身障害という言葉に冠する当研究会として、これまでの歴史の中からあらためて重症心身障害の概念を共有し、この障害の意味を考え、社会に具体的に表現し、その支援について提言していく必要があると私たちは考えます。

私たちには、概念、共通の評価、アプローチの体系化、多様なアイデアと成果を共有し、そこから発展させ、新たなアイデアと成果を生み出すサイクルを進めていくことが求められています。これまでのセミナーを通じて、歴史を振り返り知ることと、重症心身障害を表現できる評価方法が必要であることを学びました。また、支援する上では彼らを取り巻く地域や多職種とのチームワークが不可欠であることが、分科会の中で繰り返し話題となっていました。

重症心身障害の原因となる疾病に対する医療も、呼吸や摂食機能の治療、変形拘縮・痙縮や痛みのコントロール、生活介助や福祉資源の活用、個性的で豊かな人生のための活動支援など、広がりや重層化した治療目標の中でアプローチされています。このような現状の中、特に医師とセラピストとの建設的な協働は、大切なチームワークの一つと考えられます。

この主旨に基づき、今回、この分野で活躍する医師たちから、セラピストらに向けた「提言」を頂き、それを話題に討議するセミナーを開催したいと企画しました。

第一日目は、これからの方向を見定めるための重症心身障害の歴史を振り返ってのご提言を頂きます。また、重症心身障害の評価に関するご提言と、当研究会でも標準化のために協力している重症心身障害児者のための生活機能評価表「LIFE」を話題提供にオープンなディスカッションを行います。第二日目は、当研究会の相談役の4人の医師からそれぞれの分野からの提言を頂き、協働を基本テーマにオープンディスカッションを行います。

(代表 花井 丈夫)

**主催:**重症心身障害理学療法研究会

**共催:**社会福祉法人 十愛療育会

**開催日時:** 1日目 2012年9月15日(土) 12:20-16:45 (受付開始 12:00)

交流会 18:30-20:30

2日目 2012年9月16日(日) 9:20-15:00 (予定)

**開催会場：**横浜市社会福祉センター 4階ホール（横浜市中区桜木町 1-1）

アクセス：JR 根岸線 横浜市営地下鉄 桜木町駅から徒歩すぐ  
桜木町駅から会場まで案内がたちます。

**内容：**詳細は後述

1日目 開会のあいさつ

12:30-13:45 提言1 「重症心身障害の療育の課題」

13:50-15:15 提言2 「重症心身障害の評価における課題」

15:30-16:45 オープンディスカッション1 「重症心身障害の評価とLIFEの今後を考える」

18:30-20:30 交流会（参加費 5000 円）※応募者多数の場合は、先着優先になります

会場：東天紅 横浜店（神奈川県横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 10F）

2日目 9:20-10:00 総会

10:15-12:15 提言3～6

提言3 「セラピストと一緒に求めていきたいもの小児科・整形外科・リハ科の経験から」

提言4 「地域病院でのリハにおける医師とセラピストの協働」

提言5 「重症児の療育と家族も含めた発達支援における協働」

提言6 「呼吸・嚥下障害の臨床の場での協働」

13:15-15:00 オープンディスカッション2 「重症児者のリハビリテーションにおける医師との協働」

**定員：**約 200 名 申し込み多数の場合は選考（会員先行応募期間有り）

**参加費：**10000 円

**応募：**6月25日～7月13日（最終日に事務局に到着分まで有効）

官製往復はがきに以下の内容を明記しお申し込み下さい。

返信用ハガキには住所・氏名を明記してください。

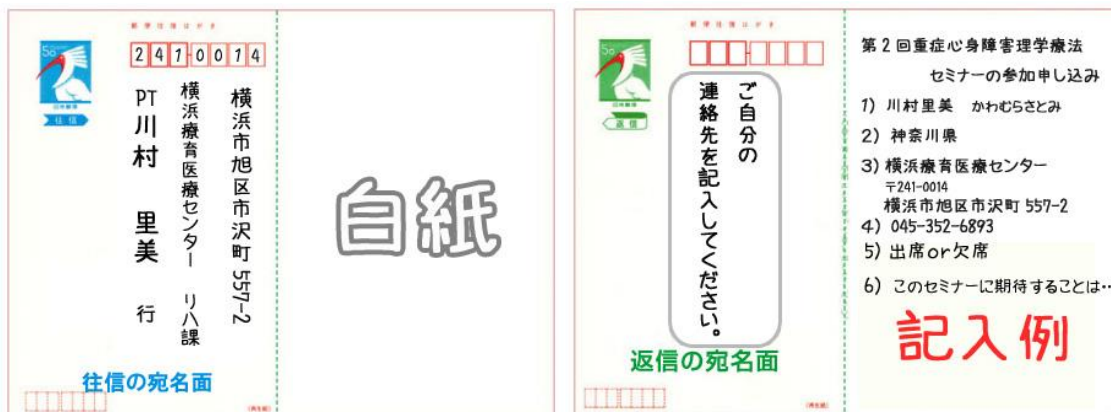
1. 氏名（ふりがな）
2. 所属先の都道府県
3. 所属 勤務先・郵便番号・勤務先住所
4. 連絡のとれる電話番号（勤務先・携帯でも可）
5. 交流会の出欠
6. このセミナーに期待すること

送付先: 〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町 557-2

横浜療育医療センター リハビリテーション課

PT 川村 里美 宛

記入例:



#### 参加の決定:

参加の可否、入金先口座等、必要事項を明記し返信いたします。

8月1日までに返信がない場合は恐れ入りますが事務局までお問い合わせ下さい。

#### 入金:

返信ハガキに振込先の口座番号を記載いたしますので、参加費 10000 円、交流会にご参加の方は交流会費 5000 円も含めて8月17日までにお振込み下さい。振込手数料はご負担下さい。

→出張等により、本人以外の名義でお振込みの場合は、事務局まで事前にご一報ください。

#### キャンセルポリシー:

注1) 参加決定後、キャンセルを希望される場合は入金前に事務局にご一報下さい

注2) 入金後にキャンセルされる場合は、参加費の返金はいたしません。あらかじめご了承ください

#### 個人情報の取り扱いについて:

申し込みいただいた際にご記入いただいた個人情報は事務局で厳正に管理し、その利用・提供においては本人の同意を得た目的の範囲内でのみ利用します。

#### その他:

- ・ 駐車場はありません。車での来場はご遠慮ください
- ・ 館内での喫煙、ホールでの飲食はできません。ご了承ください
- ・ 昼食の斡旋はしておりません。会場近隣に飲食店が多数ございますのでそちらをご利用いただきますようお願い致します。
- ・ 宿泊先の斡旋はしておりません。連休・学会等が重なり、会場周辺のホテルが手配しにくい状況が確認されています。お早目のご予約をおすすめいたします。

#### お問合せ先:

重症心身障害理学療法研究会事務局（社会福祉法人十愛療育会 横浜療育医療センター内）

〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町557-2

TEL 045-352-6893(リハ課直通)担当:川村 里美

## 「医師からの提言」

～望ましい協働を求めて～

1日目 2012年9月15日(土)(受付開始 12:00～) 会場:横浜市社会福祉センター4F

12:20-12:30 開会のあいさつ

代表 花井 丈夫

12:30-13:45 提言1 「重症心身障害の療育の課題」

児玉 和夫 医師 (堺市立重症心身障害者(児)支援センター ベルデさかい)

司会 : 高塩 純一 PT(びわこ学園医療福祉センター草津)

13:50-15:15 提言2 「重症心身障害の評価における課題」

近藤 和泉 医師 (国立長寿医療研究センター)

司会 : 中 徹 PT(鈴鹿医療科学大学)

15:30-16:45 オープンディスカッション1 「重症心身障害の評価とLIFEの今後を考える」

コーディネーター : 奥田 憲一 PT (聖ヨゼフ園)

パネリスト: 児玉医師、近藤医師、中 PT、榎勢道彦 PT(大阪発達総合療育センター)

18:30-20:30 交流会 (希望者のみ 参加費 5000 円) 受付 18:00～

会場: 東天紅 横浜店 (神奈川県横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル 10F)

<http://www.totenko.co.jp/restaurant/yokohama/>

横浜港一望の空間で、本格中国料理を味わいながら全国各地からの参加者と

交流をはかりましょう!

2日目 2012年9月16日(日) (開場 9:10～)

9:20-10:00 重症心身障害理学療法研究会 総会

10:15-12:15

提言3 「セラピストと一緒に求めていきたいもの小児科・整形外科・リハ科の経験から」

四津 有人 医師 (前東京大学大学院)

提言4 「地域病院でのリハにおける医師とセラピストの協働」

森田 昌男 医師 (船橋二和病院)

提言5 「重症児の療育と家族も含めた発達支援における協働」

小沢 浩 医師 (島田療育センター はちおうじ)

提言6 「呼吸・嚥下障害の臨床の場での協働」

田中 総一郎 医師 (宮城県拓桃医療療育センター)

13:15-15:00 オープンディスカッション2

「重症児者のリハビリテーションにおける医師との協働」

コーディネーター: 金子 断行 PT(心身障害児総合医療療育センター)

花井丈夫 PT(横浜療育医療センター)

パネリスト: 四津医師 森田医師 小沢医師 田中医師